

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成24年7月12日 (2012.7.12)

【公開番号】特開2010-179675(P2010-179675A)

【公開日】平成22年8月19日 (2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2009-22337(P2009-22337)

【国際特許分類】

B 6 0 W 30/02 (2012.01)

B 6 0 T 8/1755 (2006.01)

B 6 2 D 6/00 (2006.01)

B 6 0 W 10/18 (2012.01)

B 6 0 W 10/20 (2006.01)

B 6 0 W 30/00 (2006.01)

B 6 2 D 7/08 (2006.01)

B 6 2 D 101/00 (2006.01)

B 6 2 D 113/00 (2006.01)

B 6 2 D 119/00 (2006.01)

B 6 2 D 137/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 K 41/00 3 4 0

B 6 0 T 8/1755 Z Y W A

B 6 2 D 6/00

B 6 0 K 41/00 3 0 1 F

B 6 0 K 41/00 3 0 1 G

B 6 0 K 41/00 6 1 0 J

B 6 0 K 41/00 6 1 2 K

B 6 2 D 7/08 Z

B 6 2 D 101:00

B 6 2 D 113:00

B 6 2 D 119:00

B 6 2 D 137:00

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月16日 (2011.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

アンダステア量算出部 55 は、規範ヨーレイト算出部 53 において算出された規範ヨーレイト γ_T と、ヨーレイトセンサ S_γ からのヨーレイト γ との偏差 $\Delta\gamma$ ($=\gamma_T - \gamma$) を算出し、 γ_T が負（左旋回）で、かつ、 $\gamma_T + \varepsilon_1 \leq \gamma$ 、または、 γ_T が正（右旋回）で、かつ、 $\gamma_T - \varepsilon_1 \geq \gamma$ のとき、アンダステア状態と判定して、 $\Delta\gamma$ にもとづいて要求ヨーモーメント量を算出して、アンダステア状態を示す判定フラグ（アンダステアフラグ I F L A G A = 1）とともに、ブレーキ制御量算出部 57 および目標トー角補正部 42 に出力する。

アンダステア状態と判定しない場合は、判定フラグ（アンダステアフラグ I F L A G A

= 0) を、ブレーキ制御量算出部 57 および目標トー角補正部 42 に出力する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

オーバステア量算出部 56 は、規範ヨーレイト算出部 53 において算出された規範ヨーレイト γ_T と、ヨーレイトセンサ S_γ からのヨーレイト γ との偏差 $\Delta\gamma$ ($=\gamma_T - \gamma$) を算出し、 γ_T が負 (左旋回) で、かつ、 $\gamma_T - \varepsilon_2 \geq \gamma$ 、または、 γ_T が正 (右旋回) で、かつ、 $\gamma_T + \varepsilon_2 \leq \gamma$ のとき、オーバステア状態と判定して、 $\Delta\gamma$ にもとづいて要求ヨーモーメント量を算出して、オーバステア状態を示す判定フラグ (オーバステアフラグ IFLAGB = 1) とともに、ブレーキ制御量算出部 57 および目標トー角補正部 42 に出力する。

オーバステア状態と判定しない場合は、判定フラグ (オーバステアフラグ IFLAGB = 0) を、ブレーキ制御量算出部 57 および目標トー角補正部 42 に出力する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

ステップ S04 では、ステップ S03 において算出された規範ヨーレイト γ_T と、ヨーレイト γ とにもとづき、 γ_T が負で、かつ、 $\gamma_T + \varepsilon_1 \leq \gamma$ 、または、 γ_T が正で、かつ、 $\gamma_T - \varepsilon_1 \geq \gamma$ か、否かをチェックする。ステップ S04 において No の場合は、ステップ S05 へ進み、ステップ S04 において Yes の場合は、ステップ S06 へ進む。

ステップ S05 では、アンダステア量算出部 55 は、アンダステア状態と判定しないで、アンダステアフラグ IFLAGA = 0 を、ブレーキ制御量算出部 57 および目標トー角補正部 42 に出力する (「IFLAGA = 0」)。その後、連結子 (A) にしたがって、ステップ S08 へ進む。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

ステップ S08 では、ステップ S03 において算出された規範ヨーレイト γ_T と、ヨーレイト γ とにもとづき、 γ_T が負で、かつ、 $\gamma_T - \varepsilon_2 \geq \gamma$ 、または、 γ_T が正で、かつ、 $\gamma_T + \varepsilon_2 \leq \gamma$ か、否かをチェックする。ステップ S08 において No の場合は、ステップ S09 へ進み、ステップ S08 において Yes の場合は、ステップ S10 へ進む。

ステップ S09 では、オーバステア量算出部 56 は、オーバステア状態と判定しないで、オーバステアフラグ IFLAGB = 0 を、ブレーキ制御量算出部 57 および目標トー角補正部 42 に出力する (「IFLAGB = 0」)。その後、連結子 (B) にしたがって、ステップ S02 へ戻る。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】

